

【表紙】

【提出書類】	有価証券届出書の訂正届出書
【提出先】	関東財務局長殿
【提出日】	平成28年3月4日提出
【発行者名】	損保ジャパン日本興亜アセットマネジメント株式会社
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 山口 裕之
【本店の所在の場所】	東京都中央区日本橋二丁目2番16号
【事務連絡者氏名】	野上 英樹
【電話番号】	03-5290-3517
【届出の対象とした募集（売出）内国投資信託受益証券に係るファンドの名称】	人民元建て債券ファンド
【届出の対象とした募集（売出）内国投資信託受益証券の金額】	募集額 1,500億円を上限とします。
【縦覧に供する場所】	該当事項はありません。

1【有価証券届出書の訂正届出書の提出理由】

平成27年9月4日付をもって提出した有価証券届出書（以下「原届出書」といいます。）につきまして、有価証券報告書の提出に伴い、訂正すべき事項がありましたので、これを訂正するものであります。

2【訂正の内容】

原届出書の該当情報を以下の内容に訂正します。

下線部 _____ は訂正内容を示します。

第二部【ファンド情報】

第1【ファンドの状況】

1【ファンドの性格】

（1）【ファンドの目的及び基本的性格】

<訂正前>

（略）

<ファンドの特色>

（略）

<投資対象とする外国投資信託に関して>

UBPインベストメンツ【投資顧問会社】

- ・ユニオン バンケール プリヴェ(以下、UBPといいます)の日本拠点
- ・UBPはスイスを代表する資産運用会社の一つ
- ・UBPは1969年スイスで設立。グローバルに25拠点を展開
- ・UBPの運用資産額:987億スイスフラン(約12兆217億円)
- ・UBPは世界の個人投資家・機関投資家に様々な運用戦略を提供

(2014年12月末現在)

ブルーデンス・インベストメント・マネージメント【副投資顧問会社】

- ・数少ない中国の債券専門の運用会社
- ・2008年設立。香港、深セン、北京、上海にリサーチ・チームをもち、緻密なリサーチを行います。
- ・運用資産額は約7.165億米ドル(約877億円)

(2015年6月末現在)

<訂正後>

（略）

<ファンドの特色>

（略）

<投資対象とする外国投資信託に関して>

UBPインベストメンツ【投資顧問会社】

- ・ユニオン バンケール プリヴェ(以下、UBPといいます)の日本拠点
- ・UBPはスイスを代表する資産運用会社の一つ
- ・UBPは1969年スイスで設立。グローバルに25拠点を展開
- ・UBPの運用資産額:931億スイスフラン(約12兆3,115億円)
- ・UBPは世界の個人投資家・機関投資家に様々な運用戦略を提供

(2015年6月末現在)

ブルーデンス・インベストメント・マネージメント【副投資顧問会社】

- ・数少ない中国の債券専門の運用会社
- ・2008年設立。香港、深セン、北京、上海にリサーチ・チームをもち、緻密なリサーチを行います。
- ・運用資産額は約9億米ドル(約1,085億円)

(2015年12月末現在)

（ 3 ）【ファンドの仕組み】

< 訂正前 >

（略）

委託会社等の概況

（ ）資本金の額 1,550百万円 （平成27年6月末現在）

（略）

（ ）大株主の状況（平成27年6月末現在）

（略）

< 訂正後 >

（略）

委託会社等の概況

（ ）資本金の額 1,550百万円 （平成27年12月末現在）

（略）

（ ）大株主の状況（平成27年12月末現在）

（略）

2【投資方針】**（ 3 ）【運用体制】**

< 訂正前 >

（略）

平成27年6月末現在のものであり、今後変更されることもあります。

< 訂正後 >

（略）

平成27年12月末現在のものであり、今後変更されることもあります。

3【投資リスク】

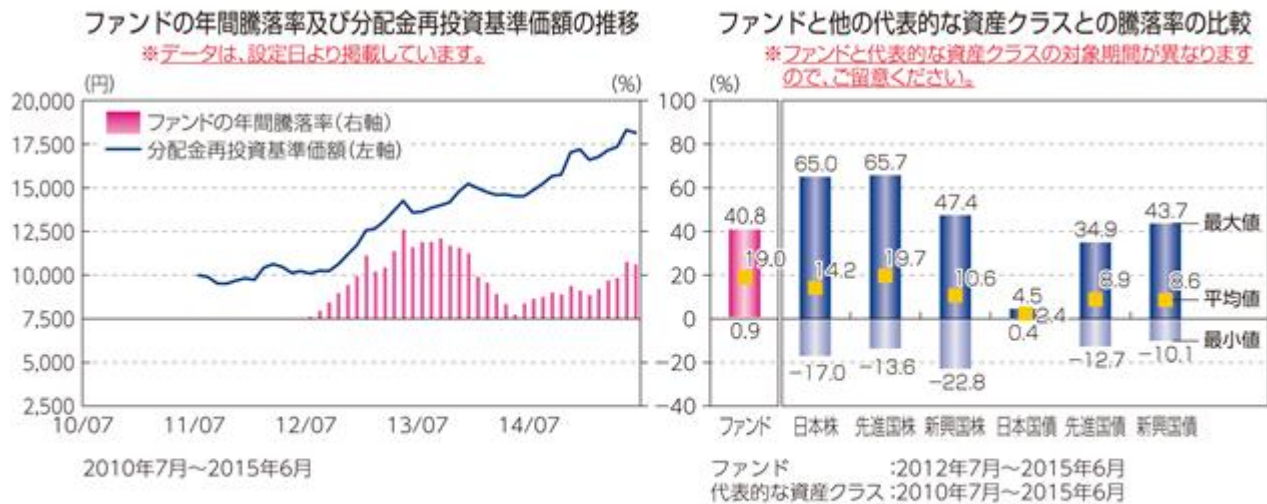
<訂正前>

(略)

<リスクの管理体制>

(略)

(注) 上図は、平成27年6月末現在のものであり、今後変更されることもあります。



●上記は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算した基準価額および年間騰落率が記載されており、実際の基準価額および基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

●上記は、期間5年のグラフになります。

●「ファンドと他の代表的な資産クラスとの騰落率の比較」は、上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を、ファンド及び他の代表的な資産クラスについて表示し、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。全ての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。

***各資産クラスの指数**

日本株…東証株価指数(TOPIX)(配当込み)

日本国債…NOMURA-BPI 国債

先進国株…MSCIコクサイインデックス(配当込み、円ベース)

先進国債…シティ世界国債インデックス(除く日本、円ベース)

新興国株…MSCIエマージングマーケットインデックス(配当込み、円換算ベース)

新興国債…JPモルガンGBI-EMグローバルレディバースファイド(円ベース)

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

- 東証株価指数(TOPIX)とは、東京証券取引所第一部上場全銘柄の基準時(1968年1月4日終値)の時価総額を100として、その後の時価総額を指数化したものです。東証株価指数(TOPIX)は、東京証券取引所の知的財産であり、東京証券取引所は、TOPIXの算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの算出もしくは公表の停止またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。
- MSCIコクサイインデックスは、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界主要国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成した株価指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- MSCIエマージングマーケットインデックスは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。MSCIエマージングマーケットインデックス(配当込み、円換算ベース)は、MSCIエマージングマーケットインデックス(配当込み、米ドルベース)をもとに委託会社が独自に計算したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- NOMURA-BPI国債は、野村證券株式会社が公表する国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数です。NOMURA-BPIに関する一切の知的財産権その他一切の権利は、すべて野村證券株式会社に帰属します。野村證券株式会社は、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。
- シティ世界国債インデックスは、Citigroup Index LLCにより開発、算出および公表されている、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はCitigroup Index LLCに帰属します。また、Citigroup Index LLCは同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- JPモルガンGBI-EMグローバルレディバースファイドは、J.P. Morgan Securities LLCが算出し公表している指数で、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。同指数の著作権はJ.P. Morgan Securities LLCに帰属します。

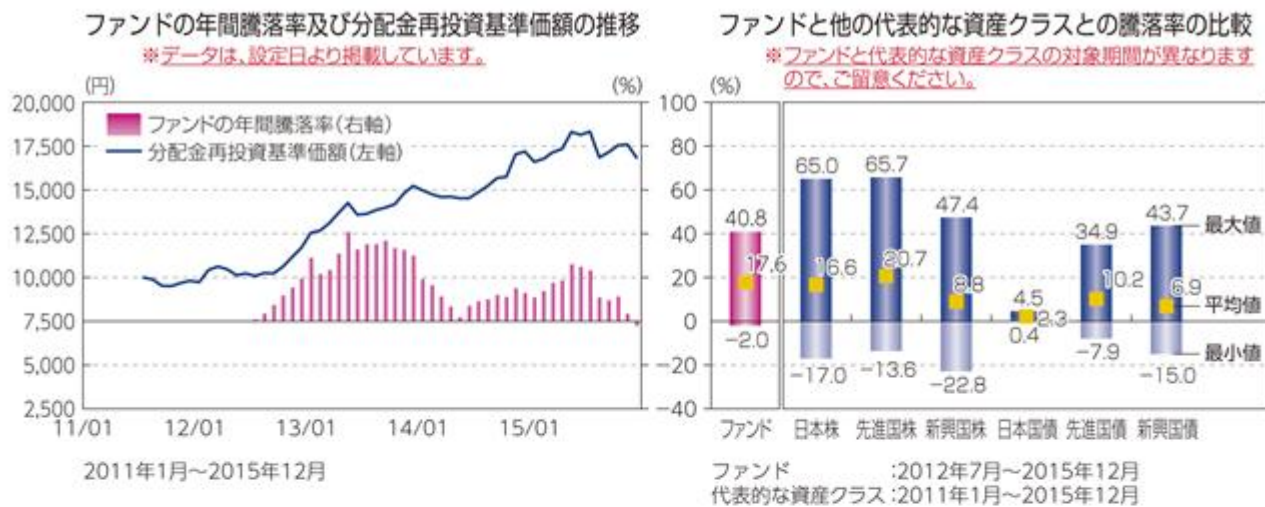
< 訂正後 >

(略)

< リスクの管理体制 >

(略)

(注) 上図は、平成27年12月末現在のものであり、今後変更されることもあります。



● 上記は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算した基準価額および年間騰落率が記載されており、実際の基準価額および基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

● 上記は、期間5年のグラフになります。

● 「ファンドと他の代表的な資産クラスとの騰落率の比較」は、上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を、ファンド及び他の代表的な資産クラスについて表示し、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。全ての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。

***各資産クラスの指数**

日本株…東証株価指数(TOPIX)(配当込み)

日本国債…NOMURA-BPI 国債

先進国株…MSCIコクサイインデックス(配当込み、円ベース)

先進国債…シティ世界国債インデックス(除く日本、円ベース)

新興国株…MSCIエマージングマーケットインデックス(配当込み、円換算ベース)

新興国債…JPモルガンGBI-EMグローバルディバースファイド(円ベース)

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

● 東証株価指数(TOPIX)とは、東京証券取引所第一部上場全銘柄の基準時(1968年1月4日終値)の時価総額を100として、その後の時価総額を指数化したものです。東証株価指数(TOPIX)は、東京証券取引所の知的財産であり、東京証券取引所は、TOPIXの算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの算出もしくは公表の停止またはTOPIXの高標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

● MSCIコクサイインデックスは、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界主要国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成した株価指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

● MSCIエマージングマーケットインデックスは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。MSCIエマージングマーケットインデックス(配当込み、円換算ベース)は、MSCIエマージングマーケットインデックス(配当込み、米ドルベース)をもとに委託会社が独自に計算したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

● NOMURA-BPI国債は、野村證券株式会社が公表する国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数です。NOMURA-BPIに関する一切の知的財産権その他一切の権利は、すべて野村證券株式会社に帰属します。野村證券株式会社は、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

● シティ世界国債インデックスは、Citigroup Index LLCにより開発、算出および公表されている、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はCitigroup Index LLCに帰属します。また、Citigroup Index LLCは同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

● JPモルガンGBI-EMグローバルディバースファイドは、J.P. Morgan Securities LLCが算出し公表している指数で、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。同指数の著作権はJ.P. Morgan Securities LLCに帰属します。

4【手数料等及び税金】

（3）【信託報酬等】

<訂正前>

（略）

上記の信託報酬等は、平成27年6月末現在のものであり、今後変更となる場合があります。また、上記のほかファンドの設立・開示に関する費用等（弁護士費用等）、資産に関する租税、組入る有価証券の売買時の売買委託手数料、事務の処理に要する費用および監査に要する費用、外貨建資産の保管などに要する費用、借入金の利息および立替金の利息、その他の実費などを負担する場合があります。

（略）

<訂正後>

（略）

上記の信託報酬等は、平成27年12月末現在のものであり、今後変更となる場合があります。また、上記のほかファンドの設立・開示に関する費用等（弁護士費用等）、資産に関する租税、組入る有価証券の売買時の売買委託手数料、事務の処理に要する費用および監査に要する費用、外貨建資産の保管などに要する費用、借入金の利息および立替金の利息、その他の実費などを負担する場合があります。

（略）

（5）【課税上の取扱い】

<訂正前>

（略）

公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度の適用対象です。

- ・少額投資非課税制度「愛称：NISA（ニーサ）」をご利用の場合

毎年、年間100万円（平成28年以降は年間120万円）の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得及び譲渡所得が5年間非課税となります。ご利用になれるのは、満20歳以上の方で、販売会社で非課税口座を開設するなど、一定の条件に該当する方が対象となります。また、平成28年4月1日より年間80万円の範囲で20歳未満の方を対象とした非課税制度（ジュニアNISA）が開始される予定です。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

上記は平成27年6月末現在のもので、税法が改正された場合等には、税率等が変更される場合があります。税金の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

<訂正後>

（略）

公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度の適用対象です。

- ・少額投資非課税制度「愛称：NISA（ニーサ）」をご利用の場合

毎年、年間120万円の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得及び譲渡所得が5年間非課税となります。ご利用になれるのは、満20歳以上の方で、販売会社で非課税口座を開設するなど、一定の条件に該当する方が対象となります。また、平成28年4月1日より年間80万円の範囲で20歳未満の方を対象とした非課税制度（ジュニアNISA）が開始される予定です。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

上記は平成27年12月末現在のもので、税法が改正された場合等には、税率等が変更される場合があります。税金の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

5【運用状況】

以下の記載内容に更新・訂正いたします。

<更新・訂正後>

(1)【投資状況】

平成27年12月30日現在

資産の種類	時価合計（円）	投資比率（％）
投資信託受益証券	492,782,093	94.94
内 ルクセンブルグ	492,782,093	94.94
親投資信託受益証券	5,230,378	1.01
内 日本	5,230,378	1.01
コール・ローン、その他の資産（負債控除後）	21,056,545	4.06
純資産総額	519,069,016	100.00

（参考）マザーファンドの投資状況

損保ジャパン日本債券マザーファンド

平成27年12月30日現在

資産の種類	時価合計（円）	投資比率（％）
国債証券	8,227,018,880	58.77
内 日本	8,227,018,880	58.77
特殊債券	1,797,499,185	12.84
内 日本	1,797,499,185	12.84
社債券	3,734,370,600	26.68
内 日本	2,828,694,900	20.21
内 フランス	405,663,900	2.90
内 イギリス	299,731,100	2.14
内 オランダ	200,280,700	1.43
コール・ローン、その他の資産（負債控除後）	238,714,812	1.71
純資産総額	13,997,603,477	100.00

（注1）投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率です。

（注2）投資資産の内書きの時価および投資比率は、原則として、当該資産の地域別又は発行国籍別の内訳です。

(2)【投資資産】

【投資有価証券の主要銘柄】

平成27年12月30日現在

順位	銘柄名 地域	種類	数量	簿価単価 簿価金額 （円）	評価単価 評価金額 （円）	利率(%) 償還日	投資 比率
1	UBP OPPORTUNITIES SICAV-SIF - Prudence RMB Income Fund JPY D ルクセンブルグ	投資信託受 益証券	38,549	13,283.0000 512,056,994	12,782.9999 492,782,093	- -	94.94%
2	損保ジャパン日本債券マザーファンド 日本	親投資信託 受益証券	3,867,193	1.3431 5,194,028	1.3525 5,230,378	- -	1.01%

（注1）評価額組入上位30銘柄について記載しています。

（注2）投資比率は、ファンドの純資産総額に対する各銘柄の時価の比率です。

投資有価証券の種類別投資比率

平成27年12月30日現在

種類	投資比率
投資信託受益証券	94.94%
親投資信託受益証券	1.01%
合計	95.94%

（注）投資比率は、ファンドの純資産総額に対する各種類の時価の比率です。

投資株式の業種別投資比率

該当事項はありません。

（参考）マザーファンドの投資資産

損保ジャパン日本債券マザーファンド

平成27年12月30日現在

順位	銘柄名 地域	種類	数量	簿価単価 簿価金額 (円)	評価単価 評価金額 (円)	利率(%) 償還日	投資 比率
1	3 4 0 1 0年国債 日本	国債証券	860,000,000	100.66 865,725,200	101.42 872,244,680	0.400000 2025/9/20	6.23%
2	3 5 2 2年国債 日本	国債証券	670,000,000	100.18 671,215,380	100.21 671,445,860	0.100000 2017/5/15	4.80%
3	3 5 7 2年国債 日本	国債証券	600,000,000	100.24 601,494,000	100.26 601,614,000	0.100000 2017/10/15	4.30%
4	1 5 2 2 0年国債 日本	国債証券	510,000,000	100.00 510,000,000	104.57 533,321,280	1.200000 2035/3/20	3.81%
5	1 5 1 2 0年国債 日本	国債証券	500,000,000	100.31 501,580,500	104.86 524,308,000	1.200000 2034/12/20	3.75%
6	4 3 3 0年国債 日本	国債証券	440,000,000	105.53 464,341,680	110.19 484,867,240	1.700000 2044/6/20	3.46%
7	1 1 9 5年国債 日本	国債証券	480,000,000	100.18 480,886,080	100.34 481,632,480	0.100000 2019/6/20	3.44%
8	3 5 0 2年国債 日本	国債証券	450,000,000	100.15 450,675,000	100.18 450,826,650	0.100000 2017/3/15	3.22%
9	1 4 8 2 0年国債 日本	国債証券	390,000,000	106.36 414,804,000	110.77 432,036,930	1.500000 2034/3/20	3.09%
10	3 5 4 2年国債 日本	国債証券	420,000,000	100.16 420,688,800	100.23 420,994,560	0.100000 2017/7/15	3.01%
11	4 7 3 0年国債 日本	国債証券	390,000,000	103.94 405,386,800	107.50 419,250,000	1.600000 2045/6/20	3.00%
12	1 5 3 2 0年国債 日本	国債証券	320,000,000	101.89 326,069,300	106.09 339,519,040	1.300000 2035/6/20	2.43%
13	1 5 0 2 0年国債 日本	国債証券	310,000,000	104.09 322,687,060	108.70 336,995,730	1.400000 2034/9/20	2.41%
14	1 4 9 2 0年国債 日本	国債証券	290,000,000	106.10 307,693,190	110.55 320,605,150	1.500000 2034/6/20	2.29%
15	1 2 0 5年国債 日本	国債証券	300,000,000	100.45 301,350,000	100.72 302,166,300	0.200000 2019/9/20	2.16%
16	1 みずほFG劣後 日本	社債券	200,000,000	100.48 200,961,400	100.85 201,713,200	0.950000 2024/7/16	1.44%
17	1 明治安田2014基 日本	社債券	200,000,000	100.28 200,562,000	100.52 201,041,200	0.510000 2019/8/7	1.44%
18	6 パークレイズバンク イギリス	社債券	200,000,000	100.03 200,079,800	100.04 200,082,000	0.328000 2017/6/23	1.43%

19	9 2 住宅機構 R M B S 日本	特殊債券	192,216,000	99.50 191,254,920	100.53 193,253,966	0.740000 2050/1/10	1.38%
20	8 6 住宅機構 R M B S 日本	特殊債券	186,770,000	101.56 189,683,612	102.46 191,364,542	1.000000 2049/7/10	1.37%
21	1 5 4 20年国債 日本	国債証券	180,000,000	101.83 183,296,100	103.98 187,164,000	1.200000 2035/9/20	1.34%
22	3 3 7 10年国債 日本	国債証券	180,000,000	98.91 178,038,000	100.97 181,746,720	0.300000 2024/12/20	1.30%
23	7 9 住宅機構 R M B S 日本	特殊債券	175,720,000	102.18 179,550,696	102.98 180,956,456	1.070000 2048/12/10	1.29%
24	7 8 住宅機構 R M B S 日本	特殊債券	173,068,000	101.78 176,165,917	103.08 178,415,801	1.080000 2048/11/10	1.27%
25	4 8 30年国債 日本	国債証券	150,000,000	100.88 151,333,500	102.82 154,230,900	1.400000 2045/9/20	1.10%
26	1 1 7 5年国債 日本	国債証券	150,000,000	100.57 150,861,100	100.68 151,024,050	0.200000 2019/3/20	1.08%
27	3 5 3 2年国債 日本	国債証券	150,000,000	100.18 150,284,700	100.23 150,358,350	0.100000 2017/6/15	1.07%
28	3 1 7 北海道電力 日本	社債券	100,000,000	103.10 103,101,200	104.50 104,504,300	1.139000 2023/11/24	0.75%
29	4 2 7 九州電力 日本	社債券	100,000,000	101.44 101,441,600	102.92 102,928,800	1.024000 2024/5/24	0.74%
30	6 9 アコム 日本	社債券	100,000,000	100.60 100,608,800	102.38 102,384,800	1.210000 2024/9/26	0.73%

（注1）評価額組入上位30銘柄について記載しています。

（注2）投資比率は、ファンドの純資産総額に対する各銘柄の時価の比率です。

投資有価証券の種類別投資比率

平成27年12月30日現在

種類	投資比率
国債証券	58.77%
特殊債券	12.84%
社債券	26.68%
合計	98.29%

（注）投資比率は、ファンドの純資産総額に対する各種類の時価の比率です。

投資株式の業種別投資比率

該当事項はありません。

【投資不動産物件】

該当事項はありません。

【その他投資資産の主要なもの】

該当事項はありません。

(3) 【運用実績】

【純資産の推移】

直近日（平成27年12月末）、同日前1年以内における各月末及び下記計算期間末における純資産の推移は次の通りです。

	純資産総額 (分配落) (円)	純資産総額 (分配付) (円)	1口当たりの 純資産額 (分配落)(円)	1口当たりの 純資産額 (分配付)(円)
第1特定期間末 (平成23年12月5日)	2,065,182,710	2,078,034,312	0.9642	0.9702
第2特定期間末 (平成24年6月5日)	1,761,591,466	1,774,386,882	0.9637	0.9707
第3特定期間末 (平成24年12月5日)	1,117,712,203	1,149,968,584	1.0395	1.0695
第4特定期間末 (平成25年6月5日)	998,513,362	1,079,411,203	1.1109	1.2009
第5特定期間末 (平成25年12月5日)	706,376,317	739,402,225	1.0694	1.1194
第6特定期間末 (平成26年6月5日)	624,099,299	630,258,366	1.0133	1.0233
第7特定期間末 (平成26年12月5日)	506,351,912	543,119,992	1.1017	1.1817
第8特定期間末 (平成27年6月5日)	481,795,465	504,261,521	1.0723	1.1223
第9特定期間末 (平成27年12月7日)	570,400,480	578,867,432	1.0105	1.0255
平成26年12月末日	503,235,575	-	1.0912	-
平成27年1月末日	484,991,271	-	1.0533	-
2月末日	490,882,885	-	1.0645	-
3月末日	477,496,586	-	1.0526	-
4月末日	482,291,057	-	1.0650	-
5月末日	504,637,891	-	1.1235	-
6月末日	617,830,184	-	1.0644	-
7月末日	653,821,371	-	1.0749	-
8月末日	605,218,434	-	0.9888	-
9月末日	594,037,257	-	1.0060	-
10月末日	611,324,024	-	1.0288	-
11月末日	603,734,915	-	1.0322	-
12月末日	519,069,016	-	0.9738	-

【分配の推移】

	1口当たりの分配金(円)
第1特定期間	0.0068
第2特定期間	0.0290
第3特定期間	0.0370
第4特定期間	0.1900
第5特定期間	0.1000
第6特定期間	0.0350
第7特定期間	0.1050
第8特定期間	0.0850
第9特定期間	0.0150

【収益率の推移】

	収益率(%)
第1特定期間	2.9
第2特定期間	3.0
第3特定期間	11.7
第4特定期間	25.1
第5特定期間	5.3
第6特定期間	2.0
第7特定期間	19.1
第8特定期間	5.0
第9特定期間	4.4

(注)各特定期間の収益率は、特定期間末の基準価額（分配落の額）に当該特定期間の分配金を加算し、当該特定期間の直前の特定期間末の基準価額（分配落の額。以下「前期末基準価額」といいます。）を控除した額を前期末基準価額で除して得た数に100を乗じた数です。
なお、小数点以下2桁目を四捨五入し、小数点以下1桁目まで表示しております。

(4) 【設定及び解約の実績】

	設定口数	解約口数
第1特定期間	2,200,493,826	58,560,000
第2特定期間	542,272,915	856,290,128
第3特定期間	57,335,336	810,039,245
第4特定期間	354,305,243	530,653,046
第5特定期間	124,770,703	363,117,434
第6特定期間	94,698,468	139,309,841
第7特定期間	34,194,234	190,500,022
第8特定期間	20,567,933	30,847,822
第9特定期間	296,391,837	181,249,449

(注1) 本邦外における設定及び解約はございません。

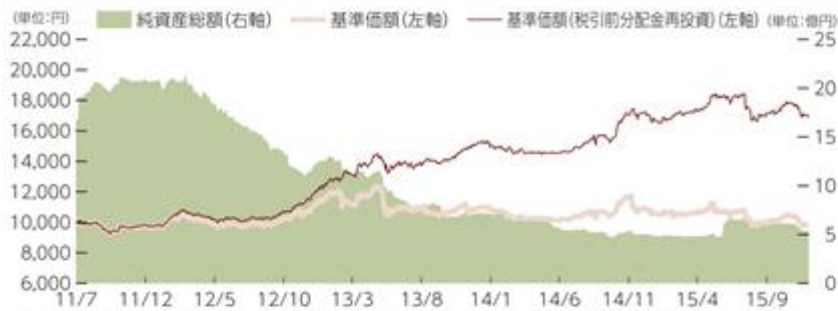
(注2) 設定口数には、当初募集期間中の設定口数を含みます。

<参考情報>

基準日:2015年12月30日

基準価額・純資産の推移 2011/07/28~2015/12/30

基準価額	9,738円
純資産総額	5.19億円



- 基準価額(税引前分配金再投資)は、税引前の分配金を再投資したものとして計算しています。
- 基準価額の計算において信託報酬は控除していません。

分配の推移

2014年12月	800円
2015年03月	350円
2015年06月	500円
2015年09月	0円
2015年12月	150円
設定来累計	6,028円

- 1万円当たり、税引前

主要な資産の状況

人民元建て債券ファンド

資産の種類	純資産比
UBP OPPORTUNITIES SICAV-SIF - Prudence RMB Income Fund JPY D	94.94%
損保ジャパン日本債券マザーファンド	1.01%
コール・ローン等	4.05%
合計	100.00%

《主要投資対象の投資信託証券の運用状況》

UBP オポチュニティーズ プルーデンス RMB インカム ファンド

UBPインベストメントおよびブルーデンス・インベストメント・マネージメントが作成したデータを掲載しております。

資産の種類	純資産比
公社債	88.9%
現金等	11.1%
合計	100.0%

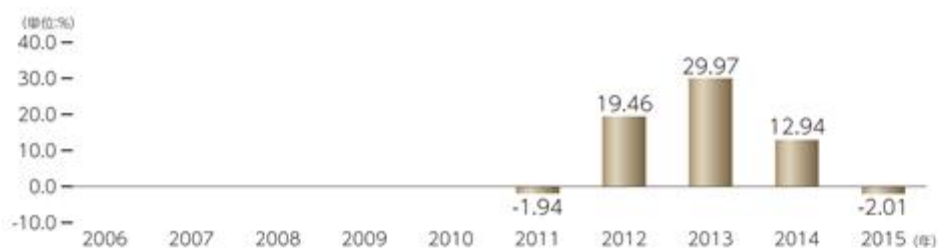
銘柄名	クーポン(%)	償還日	国・地域	業種	格付	純資産比
1 KUNZHI LTD	5.875	2017/01/15	中国	ソフトウェア・サービス	BB	15.8%
2 BOHAI GENERAL CAPITAL	6.400	2017/10/16	中国	素材	BBB	10.7%
3 FUTURE LAND DEVELOPMENT	9.750	2016/04/23	中国	不動産	BB	9.5%
4 21VIANET GROUP INC	6.875	2017/06/26	中国	電気通信サービス	BB	7.5%
5 WANHUA CHEMICAL INT HOLD	4.500	2017/11/19	中国	素材	BBB	7.4%
6 DATANG TELECOM HK HLDG	5.500	2017/09/29	中国	電気通信サービス	BBB	6.5%
7 BANCO BTG PACTUAL/CAYMAN	4.100	2016/03/26	ブラジル	各種金融	BBB	6.1%
8 EVERGRANDE REAL ESTATE G	9.250	2016/01/19	中国	不動産	BB	4.7%
9 RICHTEX (OCEAN WEALTH)	5.250	2017/07/07	中国	各種金融	BBB	3.8%
10 AGILE PROPERTY HLDGS LTD	6.500	2017/02/28	中国	不動産	BB	3.7%
組入銘柄数						17銘柄

- ファンドの運用実績は、あくまで過去の実績であり、将来の運用成果をお約束するものではありません。
- 最新の運用実績は別途、委託会社ホームページでご確認いただけます。
- 表中の各数値は四捨五入して表示していることがありますので、合計が100%とならない場合があります。

損保ジャパン日本債券マザーファンド

	銘柄名	種類	償還日	純資産比
組入上位10銘柄	1 340 10年国債	国債証券	2025/09/20	6.2%
	2 352 2年国債	国債証券	2017/05/15	4.8%
	3 357 2年国債	国債証券	2017/10/15	4.3%
	4 152 20年国債	国債証券	2035/03/20	3.8%
	5 151 20年国債	国債証券	2034/12/20	3.8%
	6 43 30年国債	国債証券	2044/06/20	3.5%
	7 119 5年国債	国債証券	2019/06/20	3.4%
	8 350 2年国債	国債証券	2017/03/15	3.2%
	9 148 20年国債	国債証券	2034/03/20	3.1%
	10 354 2年国債	国債証券	2017/07/15	3.0%
組入銘柄数				76銘柄

年間収益率の推移(暦年ベース)



- ファンドの年間収益率は基準価額(税引前分配金再投資)を使用して計算しています。
- 2011年は設定日(7月28日)から年末、2015年は年初から基準日までの収益率です。
- 当ファンドはベンチマークを設定していません。

- ファンドの運用実績は、あくまで過去の実績であり、将来の運用成果をお約束するものではありません。
- 最新の運用実績は別途、委託会社ホームページでご確認いただけます。
- 表中の各数値は四捨五入して表示していることがありますので、合計が100%とならない場合があります。

第3【ファンドの経理状況】

以下の記載内容に更新・訂正いたします。

<更新・訂正後>

1. 当ファンドの財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和38年大蔵省令第59号）（以下「財務諸表等規則」という。）ならびに同規則第2条の2の規定により、「投資信託財産の計算に関する規則」（平成12年総理府令第133号）（以下「投資信託財産計算規則」という。）に基づいて作成しております。

なお、財務諸表に記載している金額は、円単位で表示しております。

2. 当ファンドの計算期間は6ヶ月未満であるため、財務諸表は6ヶ月ごとに作成しております。

3. 当ファンドは、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、平成27年6月6日から平成27年12月7日までの財務諸表について、新日本有限責任監査法人による監査を受けております。

1【財務諸表】

【人民元建て債券ファンド】

(1)【貸借対照表】

(単位：円)

	前 期 平成27年 6 月 5 日現在	当 期 平成27年12月 7 日現在
資産の部		
流動資産		
コール・ローン	33,964,320	58,095,732
投資信託受益証券	466,923,463	538,534,130
親投資信託受益証券	4,801,751	5,741,810
流動資産合計	505,689,534	602,371,672
資産合計	505,689,534	602,371,672
負債の部		
流動負債		
未払収益分配金	22,466,056	8,466,952
未払解約金	123,289	21,892,481
未払受託者報酬	52,591	64,969
未払委託者報酬	1,249,535	1,543,567
その他未払費用	2,598	3,223
流動負債合計	23,894,069	31,971,192
負債合計	23,894,069	31,971,192
純資産の部		
元本等		
元本	449,321,120	564,463,508
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金（ ）	32,474,345	5,936,972
純資産合計	481,795,465	570,400,480
負債純資産合計	505,689,534	602,371,672

（２）【損益及び剰余金計算書】

(単位：円)

	前 期		当 期	
	自 平成26年12月6日 至 平成27年6月5日		自 平成27年6月6日 至 平成27年12月7日	
営業収益				
受取配当金		24,957,711		17,212,500
受取利息		980		1,648
有価証券売買等損益		2,277,735		43,659,254
営業収益合計		27,236,426		26,445,106
営業費用				
受託者報酬		105,232		132,201
委託者報酬		2,500,271		3,140,897
その他費用		5,199		6,557
営業費用合計		2,610,702		3,279,655
営業利益又は営業損失（ ）		24,625,724		29,724,761
経常利益又は経常損失（ ）		24,625,724		29,724,761
当期純利益又は当期純損失（ ）		24,625,724		29,724,761
一部解約に伴う当期純利益金額の分配額又は一部解約に伴う当期純損失金額の分配額（ ）		224,750		2,105,290
期首剰余金又は期首欠損金（ ）		46,750,903		32,474,345
剰余金増加額又は欠損金減少額		1,483,889		16,914,089
当期追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額		1,483,889		16,914,089
剰余金減少額又は欠損金増加額		1,553,601		3,154,459
当期一部解約に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額		1,553,601		3,154,459
分配金		38,607,820		8,466,952
期末剰余金又は期末欠損金（ ）		32,474,345		5,936,972

(3) 【注記表】

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1. 有価証券の評価基準及び評価方法	<p>投資信託受益証券 移動平均法に基づき計算期間末日の基準価額で評価しております。</p> <p>親投資信託受益証券 移動平均法に基づき計算期間末日の基準価額で評価しております。</p>
2. 費用・収益の計上基準	<p>受取配当金 原則として、配当落ち日において、確定配当金額又は予想配当金額を計上しております。</p> <p>有価証券売買等損益の計上基準 約定日基準で計上しております。</p>
3. その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項	<p>特定期間末日の取扱い 当ファンドは、原則として毎年6月5日及び12月5日を特定期間の末日としておりますが、該当日が休業日のため、当特定期間末日を平成27年12月7日としております。</p>

(貸借対照表に関する注記)

項目	前 期 平成27年6月5日現在	当 期 平成27年12月7日現在
1. 受益権の総数	449,321,120口	564,463,508口
2. 1口当たり純資産額 (1万口当たり純資産額)	1.0723円 (10,723円)	1.0105円 (10,105円)

（損益及び剰余金計算書に関する注記）

項目	前 期 自 平成26年12月6日 至 平成27年6月5日	当 期 自 平成27年6月6日 至 平成27年12月7日
1．分配金の計算過程	<p>（自平成26年12月6日 至平成27年3月5日）</p> <p>計算期間末における経費控除後の配当等収益（10,590,954円）（本ファンドに帰属すべき親投資信託の配当等収益を含む）、費用控除後、繰越欠損金を補填した有価証券売買等損益（0円）、信託約款に規定される収益調整金（18,529,498円）及び分配準備積立金（20,114,636円）より分配対象収益は49,235,088円（1万口当たり1,067.56円）であり、うち16,141,764円（1万口当たり350円）を分配金額としております。なお、分配金の計算過程においては、親投資信託の配当等収益及び収益調整金相当額を充当する方法によっております。（以下、各期間において同じ。）</p> <p>（自平成27年3月6日 至平成27年6月5日）</p> <p>計算期間末における経費控除後の配当等収益（12,641,687円）（本ファンドに帰属すべき親投資信託の配当等収益を含む）、費用控除後、繰越欠損金を補填した有価証券売買等損益（2,387,245円）、信託約款に規定される収益調整金（26,040,303円）及び分配準備積立金（13,871,166円）より分配対象収益は54,940,401円（1万口当たり1,222.74円）であり、うち22,466,056円（1万口当たり500円）を分配金額としております。</p>	<p>（自平成27年6月6日 至平成27年9月7日）</p> <p>計算期間末における経費控除後の配当等収益（7,051,310円）（本ファンドに帰属すべき親投資信託の配当等収益を含む）、費用控除後、繰越欠損金を補填した有価証券売買等損益（0円）、信託約款に規定される収益調整金（28,995,356円）及び分配準備積立金（5,731,393円）より分配対象収益は41,778,059円（1万口当たり673.95円）であります。なお、分配を行っておりません。なお、分配金の計算過程においては、親投資信託の配当等収益及び収益調整金相当額を充当する方法によっております。（以下、各期間において同じ。）</p> <p>（自平成27年9月8日 至平成27年12月7日）</p> <p>計算期間末における経費控除後の配当等収益（7,745,702円）（本ファンドに帰属すべき親投資信託の配当等収益を含む）、費用控除後、繰越欠損金を補填した有価証券売買等損益（0円）、信託約款に規定される収益調整金（32,221,323円）及び分配準備積立金（10,931,073円）より分配対象収益は50,898,098円（1万口当たり901.71円）であり、うち8,466,952円（1万口当たり150円）を分配金額としております。</p>

（金融商品に関する注記）

金融商品の状況に関する事項

項目	前 期	当 期
	自 平成26年12月6日 至 平成27年6月5日	自 平成27年6月6日 至 平成27年12月7日
1．金融商品に対する取組方針	当ファンドは、証券投資信託であり、信託約款に基づき金融商品を投資として運用することを目的としております。	同左
2．金融商品の内容及び当該金融商品に係るリスク	（１）金融商品の内容 当ファンドが保有している金融商品は、有価証券、コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務であります。当ファンドが保有する有価証券の詳細は（有価証券に関する注記）に記載しております。 （２）金融商品に係るリスク 当ファンドが実質的に保有している金融商品は、市場リスク（価格変動、為替変動、金利変動等）、信用リスク、流動性リスクに晒されております。	同左
3．金融商品に係るリスク管理体制	委託会社では、運用に係る各種リスクについて運用部門が自ら確認するとともに、運用部門とは独立したコンプライアンス・リスク管理部が、全社リスク管理基本規程に従い各種リスクを監視し、その状況をコンプライアンス・リスク管理委員会等に定期的に報告しております。 市場リスク 金融市場における各金融商品の時価の推移を把握すること等により、ファンドの運用方針への遵守状況を管理しております。	同左

<p>4．金融商品の時価等に関する事項についての補足説明</p>	<p>信用リスク 各金融商品の発行体の格付等信用情報をモニタリングすること等により、ファンドの投資制限等、運用方針への遵守状況を管理しております。</p> <p>流動性リスク 必要に応じて時価の推移をモニタリングすること等により、ファンドで保有する金融商品の流動性の状況を管理しております。</p> <p>また、内部監査部が運用リスク管理の適切性・有効性について内部監査を実施し、その結果を取締役会に報告するとともに、必要に応じて是正勧告及びそのフォローアップを実施しております。</p> <p>金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。</p>	<p>同左</p>
----------------------------------	---	-----------

金融商品の時価等に関する事項

項目	前期 平成27年6月5日現在	当期 平成27年12月7日現在
<p>1．貸借対照表計上額、時価及びその差額</p>	<p>当該ファンドの保有する金融商品は、原則としてすべて時価評価されているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。</p>	<p>同左</p>

2. 時価の算定方法	<p>(1)有価証券 重要な会計方針に係る事項に関する注記に記載してあります。</p> <p>(2)デリバティブ取引 該当事項はありません。</p> <p>(3)上記以外の金融商品 上記以外の金融商品(コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務)は短期間で決済されるため、帳簿価額を時価としております。</p>	同左
------------	---	----

（関連当事者との取引に関する注記）

前 期 平成27年6月5日現在	当 期 平成27年12月7日現在
該当事項はありません。	同左

（その他の注記）

項目	前 期	当 期
	自 平成26年12月6日 至 平成27年6月5日	自 平成27年6月6日 至 平成27年12月7日
期首元本額	459,601,009円	449,321,120円
期中追加設定元本額	20,567,933円	296,391,837円
期中一部解約元本額	30,847,822円	181,249,449円

（有価証券に関する注記）

売買目的有価証券

種類	前 期	当 期
	自 平成26年12月6日 至 平成27年6月5日	自 平成27年6月6日 至 平成27年12月7日
	当特定期間の 損益に含まれた 評価差額（円）	当特定期間の 損益に含まれた 評価差額（円）
投資信託受益証券	26,335,920	21,025,051
親投資信託受益証券	11,972	29,998
合計	26,323,948	21,055,049

（デリバティブ取引等に関する注記）

該当事項はありません。

(4) 【附属明細表】

第1 有価証券明細表

(1) 株式

該当事項はありません。

(2) 株式以外の有価証券

平成27年12月7日現在

種類	銘柄	券面総額 (円)	評価額 (円)	備考
投資信託受益証券	UBP OPPORTUNITIES SICAV-SIF - Prudence RMB Income Fund JPY D	40,543	538,534,130	
投資信託受益証券	合計	40,543	538,534,130	
親投資信託受益証券	損保ジャパン日本債券マザーファンド	4,275,043	5,741,810	
親投資信託受益証券	合計	4,275,043	5,741,810	
合計		4,315,586	544,275,940	

(注) 投資信託受益証券及び親投資信託受益証券における券面総額欄の数値は、口数を表示しております。

第2 信用取引契約残高明細表

該当事項はありません。

第3 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

該当事項はありません。

< 参考 >

当ファンドは「損保ジャパン日本債券マザーファンド」受益証券及び「UBP OPPORTUNITIES SICAV-SIF - Prudence RMB Income Fund」のJPY Dクラスに係る投資信託の受益証券を主要投資対象としておりません。貸借対照表の資産の部に計上された「親投資信託受益証券」はすべて「損保ジャパン日本債券マザーファンド」の受益証券であり、「投資信託受益証券」はすべて「UBP OPPORTUNITIES SICAV-SIF - Prudence RMB Income Fund」のJPY Dクラスに係る投資信託の受益証券であります。なお、同マザーファンドの状況及び「UBP OPPORTUNITIES SICAV-SIF - Prudence RMB Income Fund」を含むルクセンブルグ籍会社型投資信託「UBP OPPORTUNITIES SICAV-SIF」の財務諸表のうち、投資対象に関連する部分を委託会社にて抜粋・翻訳したものは次のとおりです。

* なお、以下は参考情報であり、監査証明の対象ではありません。

損保ジャパン日本債券マザーファンドの状況

貸借対照表

(単位：円)

科 目	平成27年6月5日現在	平成27年12月7日現在
資産の部		
流動資産		
コール・ローン	1,059,071,576	96,924,186
国債証券	9,434,862,660	8,548,922,910
特殊債券	1,882,563,330	1,801,235,923
社債券	3,810,652,300	3,728,851,800
未収入金	399,186,500	300,663,000
未収利息	22,092,245	27,878,156
前払費用	4,147,436	2,507,473
流動資産合計	16,612,576,047	14,506,983,448
資産合計	16,612,576,047	14,506,983,448
負債の部		
流動負債		
未払金	993,808,000	299,151,000
流動負債合計	993,808,000	299,151,000
負債合計	993,808,000	299,151,000
純資産の部		
元本等		
元本	11,825,080,678	10,578,721,578
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金（ ）	3,793,687,369	3,629,110,870
純資産合計	15,618,768,047	14,207,832,448
負債純資産合計	16,612,576,047	14,506,983,448

注記表

（重要な会計方針に係る事項に関する注記）

1．有価証券の評価基準及び評価方法	<p>国債証券、特殊債券及び社債券 個別法に基づき、以下のとおり、原則として時価で評価しております。時価評価にあたっては、原則として日本証券業協会発表の店頭基準気配値段、金融商品取引業者、銀行等の提示する価額（ただし、売気配相場は使用しない）又は価格提供会社の提供する価額のいずれかから入手した価額で評価しております。</p> <p>ただし、適正な評価額を入手できなかった場合又は入手した評価額が時価と認定できない事由が認められた場合は、投資信託委託会社が忠実義務に基づいて合理的事由をもって時価と認めた価額もしくは受託者と協議のうえ両者が合理的事由をもって時価と認めた価額で評価しております。</p>
2．費用・収益の計上基準	<p>有価証券売買等損益の計上基準 約定日基準で計上しております。</p>

（貸借対照表に関する注記）

項目	平成27年6月5日現在	平成27年12月7日現在
1．受益権の総数	11,825,080,678口	10,578,721,578口
2．1口当たり純資産額 （1万口当たり純資産額）	1.3208円 (13,208円)	1.3431円 (13,431円)

（金融商品に関する注記）

金融商品の状況に関する事項

項目	自 平成26年12月6日 至 平成27年6月5日	自 平成27年6月6日 至 平成27年12月7日
1．金融商品に対する取組方針	<p>当ファンドは、証券投資信託であり、信託約款に基づき金融商品を投資として運用することを目的としております。</p>	同左
2．金融商品の内容及び当該金融商品に係るリスク	<p>（1）金融商品の内容 当ファンドが保有している金融商品は、有価証券、コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務であります。当ファンドが保有する有価証券の詳細は（有価証券に関する注記）に記載しております。</p> <p>（2）金融商品に係るリスク 当ファンドが実質的に保有している金融商品は、市場リスク（価格変動、為替変動、金利変動等）、信用リスク、流動性リスクに晒されております。</p>	同左

3. 金融商品に係るリスク管理体制	<p>委託会社では、運用に係る各種リスクについて運用部門が自ら確認するとともに、運用部門とは独立したコンプライアンス・リスク管理部が、全社リスク管理基本規程に従い各種リスクを監視し、その状況をコンプライアンス・リスク管理委員会等に定期的に報告しております。</p> <p>市場リスク 金融市場における各金融商品の時価の推移を把握すること等により、ファンドの運用方針への遵守状況を管理しております。</p> <p>信用リスク 各金融商品の発行体の格付等信用情報をモニタリングすること等により、ファンドの投資制限等、運用方針への遵守状況を管理しております。</p> <p>流動性リスク 必要に応じて時価の推移をモニタリングすること等により、ファンドで保有する金融商品の流動性の状況を管理しております。</p> <p>また、内部監査部が運用リスク管理の適切性・有効性について内部監査を実施し、その結果を取締役会に報告するとともに、必要に応じて是正勧告及びそのフォローアップを実施しております。</p>	同左
4. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	<p>金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。</p>	同左

金融商品の時価等に関する事項

項目	平成27年6月5日現在	平成27年12月7日現在
1. 貸借対照表計上額、時価及びその差額	当該ファンドの保有する金融商品は、原則としてすべて時価評価されているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。	同左
2. 時価の算定方法	(1)有価証券 重要な会計方針に係る事項に関する注記に記載しております。 (2)デリバティブ取引 該当事項はありません。 (3)上記以外の金融商品 上記以外の金融商品（コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務）は短期間で決済されるため、帳簿価額を時価としております。	同左

（関連当事者との取引に関する注記）

平成27年6月5日現在	平成27年12月7日現在
該当事項はありません。	同左

（その他の注記）

項目	自 平成26年12月6日 至 平成27年6月5日	自 平成27年6月6日 至 平成27年12月7日
本報告書における開示対象ファンドの期首における当該親投資信託の元本額	11,218,838,321円	11,825,080,678円
同期中追加設定元本額	1,400,456,136円	660,906,242円
同期中一部解約元本額	794,213,779円	1,907,265,342円
元本の内訳*		
ファンド名		
損保ジャパン日本債券ファンド	986,021,468円	1,021,508,206円
ハッピーエイジング20	137,945,819円	129,860,235円
ハッピーエイジング30	656,643,705円	615,904,523円
ハッピーエイジング40	3,184,692,921円	3,063,667,017円
ハッピーエイジング50	2,413,036,596円	2,384,934,244円
ハッピーエイジング60	2,047,416,576円	2,071,838,448円
パン・アフリカ株式ファンド	8,837,856円	1,491,284円
アジア転換社債ファンド（毎月分配型）	5,354,628円	- 円
人民元建て債券ファンド	3,635,487円	4,275,043円

オフショア人民元債フォーカス (ダイワSMA専用)	92,259円	- 円
好配当グローバルREITプレミアム・ファンド 円ヘッジありコース	17,315,138円	10,578,816円
好配当グローバルREITプレミアム・ファンド 円ヘッジなしコース	123,676,355円	89,260,211円
好配当グローバルREITプレミアム・ファンド 通貨セレクトコース	2,154,176,133円	1,126,387,623円
好配当米国株式プレミアム・ファンド 円ヘッジありコース	213,905円	33,589円
好配当米国株式プレミアム・ファンド 円ヘッジなしコース	218,284円	188,351円
好配当米国株式プレミアム・ファンド 通貨セレクトコース	3,617,775円	1,855,368円
好配当米国株式プレミアム・ファンド 通貨セレクト・プレミアムコース	64,612,428円	45,188,599円
金利上昇対応型グローバル・ハイ・イールドファンド 円ヘッジありコース	2,070,145円	810,501円
金利上昇対応型グローバル・ハイ・イールドファンド 円ヘッジなしコース	1,503,713円	677,119円
金利上昇対応型グローバル・ハイ・イールドファンド 通貨セレクトコース	10,617,401円	4,748,606円
好配当グローバルREITプレミアム・ファンド 通貨セレクト・プレミアムコース	3,382,086円	2,164,584円
好配当グローバルREITプレミアム・ファンド 米ドルプレミアムコース	- 円	3,103,576円
インド株式集中投資ファンド	- 円	245,635円
計	11,825,080,678円	10,578,721,578円

* 当該親投資信託受益証券を投資対象とする証券投資信託ごとの元本額

（有価証券に関する注記）

売買目的有価証券

種類	自 平成26年12月6日 至 平成27年6月5日	自 平成27年6月6日 至 平成27年12月7日
	当計算期間の 損益に含まれた 評価差額（円）	当計算期間の 損益に含まれた 評価差額（円）
国債証券	13,633,160	89,281,280
特殊債券	6,279,825	6,581,991
社債券	2,329,800	17,305,300
合計	5,023,535	113,168,571

（デリバティブ取引等に関する注記）

該当事項はありません。

附属明細表

第1 有価証券明細表

（1）株式

該当事項はありません。

（2）株式以外の有価証券

平成27年12月7日現在

種類	銘柄	券面総額 （円）	評価額 （円）	備考
国債証券	3 5 0 2年国債	530,000,000	530,873,970	
	3 5 1 2年国債	50,000,000	50,086,300	
	3 5 2 2年国債	670,000,000	671,211,360	
	3 5 3 2年国債	150,000,000	150,283,350	
	3 5 4 2年国債	420,000,000	420,834,960	
	1 1 6 5年国債	90,000,000	90,568,350	
	1 1 7 5年国債	150,000,000	150,983,550	
	1 1 9 5年国債	480,000,000	481,491,840	
	1 2 0 5年国債	300,000,000	302,100,000	
	3 3 7 10年国債	280,000,000	281,237,040	
	3 4 0 10年国債	1,310,000,000	1,322,454,170	
	3 4 1 10年国債	300,000,000	299,128,800	
	4 3 30年国債	440,000,000	473,341,880	
	4 7 30年国債	390,000,000	407,710,680	
	4 8 30年国債	220,000,000	220,000,000	
	1 4 8 20年国債	450,000,000	490,846,050	
	1 4 9 20年国債	290,000,000	315,633,390	
	1 5 0 20年国債	310,000,000	331,181,990	
	1 5 1 20年国債	500,000,000	515,991,500	
	1 5 2 20年国債	510,000,000	524,791,530	
1 5 3 20年国債	320,000,000	334,050,560		
1 5 4 20年国債	180,000,000	184,121,640		
国債証券 合計		8,340,000,000	8,548,922,910	
特殊債券	4 2 政保道路機構	50,000,000	51,638,150	
	4 住宅金融RMB S	44,328,000	45,994,732	
	6 住宅金融RMB S	63,404,000	66,326,924	
	1 7 住宅金融RMB S	19,880,000	20,854,120	
	3 1 住宅金融RMB S	29,467,000	31,408,875	
	4 2 住宅金融RMB S	58,010,000	63,248,303	
	4 9 住宅機構RMB S	69,025,000	73,649,675	
	5 0 住宅機構RMB S	68,925,000	73,205,242	

5 2	住宅機構R M B S	75,982,000	80,054,635
6 0	住宅機構R M B S	81,107,000	84,708,150
6 5	住宅機構R M B S	84,807,000	87,588,669
6 6	住宅機構R M B S	84,464,000	87,082,384
7 3	住宅機構R M B S	87,635,000	91,219,271
7 8	住宅機構R M B S	173,976,000	178,690,749
7 9	住宅機構R M B S	176,802,000	181,363,490
8 6	住宅機構R M B S	187,620,000	191,409,924
9 2	住宅機構R M B S	192,884,000	192,999,730
い776	利付農林債	100,000,000	99,811,400
297	信金中金	100,000,000	99,981,500
特殊債券 合計		1,748,316,000	1,801,235,923
社債券			
7	B P C E S . A .	100,000,000	100,569,800
1	B P C E S . A . 劣後	100,000,000	100,841,400
1	クレディ・A 劣後	100,000,000	101,729,900
1	スタンダード・C	100,000,000	99,701,500
6	パークレイズバンク	200,000,000	200,119,600
20	ラボバンク・ネダー	100,000,000	100,158,900
22	ラボバンク・ネダー	100,000,000	100,223,700
1	ソシエテG 劣後	100,000,000	102,079,700
30	東日本高速道	100,000,000	100,282,900
47	中日本高速道	100,000,000	100,320,700
61	中日本高速道	100,000,000	100,276,000
7	アサヒグループHD	100,000,000	100,198,600
31	双日	100,000,000	100,407,400
2	荒川化学工業	100,000,000	100,124,800
25	太平洋セメント	100,000,000	101,206,400
36	富士通	100,000,000	101,115,800
13	パナソニック	100,000,000	100,721,500
1	明治安田2014基	200,000,000	201,099,800
1	日生2015基金	100,000,000	100,242,200
1	三井住友トラ 劣	100,000,000	99,813,200
1	三井住友FG劣後	100,000,000	99,642,300
5	住友信託 劣後	100,000,000	100,764,700
1	みずほFG劣後	200,000,000	200,846,800
69	アコム	100,000,000	102,095,400
167	オリックス	100,000,000	100,628,000
28	相鉄HD	100,000,000	102,116,500
2	スカパーJ S A T H L D G	100,000,000	100,142,600
495	関西電力	100,000,000	101,649,200
496	関西電力	100,000,000	101,272,400
427	九州電力	100,000,000	102,481,400
430	九州電力	100,000,000	100,394,900
431	九州電力	100,000,000	100,276,400
317	北海道電力	100,000,000	104,057,400
1A	日本生命劣後FR	100,000,000	101,250,000
社債券 合計		3,700,000,000	3,728,851,800
合計		13,788,316,000	14,079,010,633

第2 信用取引契約残高明細表

該当事項はありません。

第3 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表
該当事項はありません。

UBP OPPORTUNITIES SICAV-SIF - Prudence RMB Income Fundの状況

(1) 純資産計算書

	(円)
	2014年12月31日現在
資産	
有価証券ポートフォリオ（時価）	1,658,164,271
銀行預金	289,956,977
未収利息	23,151,045
創立費	839,506
為替未収入金	200,000
資産合計	1,972,311,799
負債	
借入金	168,146
為替未払金	199,850
未払費用	4,203,263
負債合計	4,571,259
純資産合計	1,967,740,540

(発行済み口数の状況)

2014年1月1日から2014年12月31日まで

				(口)
	発行済み口数	追加設定口数	解約口数	発行済み口数
	2014年1月1日現在			2014年12月31日現在
JPY Cシェア クラス	15,102.34	84,223.62	17,384.29	81,941.67
JPY Dシェア クラス	49,339.01	5,715.42	20,905.00	34,149.43

(1口当たりの純資産額)

	2014年12月31日現在
純資産合計(円)	1,967,740,540

JPY Cシェア クラス

発行済み口数(口)	81,941.67
1口当たりの純資産額(円)	18,179.0000

JPY Dシェア クラス

発行済み口数(口)	34,149.43
1口当たりの純資産額(円)	13,998.0000
1口当たりの分配金(円)	1,700.0000

組入資産の明細

有価証券ポートフォリオ・その他純資産の明細表

(2014年12月31日現在)

数量	銘柄名	通貨	簿価(円)	時価(円)	純資産構成比 (%)
公認証券取引所譲渡可能上場有価証券またはその他規制市場で 取引される譲渡可能有価証券			1,309,181,312	1,464,685,767	74.44
債券			1,309,181,312	1,464,685,767	74.44
7,200,000	BCO BTG PACTUAL 4.10 13-16 26/03S	CNH	115,478,736	136,619,095	6.94
2,000,000	BESTGAIN REGD 4.50 13-18 04/12S	CNH	32,737,962	38,253,128	1.94
12,000,000	BOHAI GENERAL CAPITAL 6.40 14-17 16/10S	CNH	216,168,871	229,491,084	11.67
2,000,000	CHINA CITY 5.35 14-17 03/07S	CNH	32,686,191	38,345,027	1.95
5,000,000	DATANG TELECOM 5.50 14-17 29/09S	CNH	88,683,640	95,632,821	4.86
5,000,000	EVERGRANDE REAL EST 9.25 11-16 19/01S	CNH	83,885,871	95,594,370	4.86
5,000,000	FUTURE LAND DEV 9.75 13-16 23/04S	CNH	80,275,214	96,350,895	4.90
2,000,000	GEMDALE INTL HLDG 9.15 12-15 26/07S	CNH	24,837,999	39,236,708	1.99
1,000,000	GREENLAND HK 5.50 14-18 23/01S	CNH	16,135,431	18,961,897	0.96
5,000,000	GUOSEN SECU OVERSEAS 6.40 14-17 24/04S	CNH	83,443,500	96,619,093	4.91
3,800,000	I T LTD 6.25 13-18 15/05S	CNH	55,904,315	68,344,999	3.47
3,000,000	TIMES PROPERTY REGS 10.375 14-17 16/07S	CNH	58,438,113	57,090,155	2.90
2,000,000	UNICAN LTD 5.60 14-17 18/09S	CNH	34,885,861	38,500,754	1.96
1,000,000	VAST EXPAND 5.20 14-17 11/09S	CNH	17,057,482	19,200,775	0.98
10,000,000	WANHUA CHEMICAL INT 4.50 14-17 19/11S	CNH	187,985,079	191,534,799	9.73
8,300,000	21VIANET GROUP 6.875 14-17 26/06S	CNH	136,899,116	155,616,483	7.91
2,600,000	21VIANET GROUP INC 7.875 13-16 22/03S	CNH	43,677,931	49,293,684	2.51
その他譲渡可能有価証券			132,703,074	193,478,504	9.83
債券			132,703,074	193,478,504	9.83
10,000,000	SHANDONG INTL HK 5.80 12-15 07/12S	CNH	132,703,074	193,478,504	9.83
有価証券ポートフォリオ合計			1,441,884,386	1,658,164,271	84.27
銀行預金				289,788,831	14.73
その他純資産/(負債)				19,787,438	1.00
合計				1,967,740,540	100.00

(注1) UBPインベストメンツ株式会社からのデータ提供を受けて作成しております。

(注2) 作成時点において、入手可能な直近計算期間の財務諸表を用いております。

2【ファンドの現況】

【純資産額計算書】

平成27年12月30日現在

資産総額	532,819,053円
負債総額	13,750,037円
純資産総額(-)	519,069,016円
発行済数量	533,040,764口
1単位当りの純資産額(/)	0.9738円

(参考)マザーファンドの現況

損保ジャパン日本債券マザーファンド

平成27年12月30日現在

資産総額	13,997,603,477円
負債総額	0円
純資産総額(-)	13,997,603,477円
発行済数量	10,349,570,188口
1単位当りの純資産額(/)	1.3525円

第三部【委託会社等の情報】

第1【委託会社等の概況】

1【委託会社等の概況】

<訂正前>

(1) 資本金の額（平成27年6月末現在）

(略)

最近5年間における主な資本金の額の増減

平成21年12月29日 資本金の額を1,200百万円から1,550百万円に増額しました。

(2) 会社の機構（平成27年6月末現在）

(略)

<訂正後>

(1) 資本金の額（平成27年12月末現在）

(略)

最近5年間における主な資本金の額の増減：該当事項はありません。

(2) 会社の機構（平成27年12月末現在）

(略)

2【事業の内容及び営業の概況】

<訂正前>

(略)

委託会社の運用する投資信託（親投資信託を除きます。）は平成27年6月末現在、計119本（追加型株式投資信託105本、単位型株式投資信託14本）であり、その純資産総額の合計は818,489百万円です。

<訂正後>

(略)

委託会社の運用する投資信託（親投資信託を除きます。）は平成27年12月末現在、計120本（追加型株式投資信託103本、単位型株式投資信託17本）であり、その純資産総額の合計は701,905百万円です。

3【委託会社等の経理状況】

以下の記載内容に更新・訂正いたします。

<更新・訂正後>

1．委託会社である損保ジャパン日本興亜アセットマネジメント株式会社(以下「委託会社」という。)の財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(昭和38年大蔵省令第59号。以下「財務諸表等規則」という。)、ならびに、同規則第2条の規定に基づき、「金融商品取引業等に関する内閣府令」(平成19年内閣府令第52号)により作成しております。

また、委託会社の中間財務諸表は「中間財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(昭和52年大蔵省令第38号)、ならびに、同規則第38条第1項及び第57条第1項の規定に基づき、「金融商品取引業等に関する内閣府令」(平成19年内閣府令第52号)により作成しております。

2．委託会社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、事業年度(平成26年4月1日から平成27年3月31日まで)の財務諸表について、新日本有限責任監査法人による監査を受けております。

また、委託会社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第31期中間会計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)の中間財務諸表について新日本有限責任監査法人により中間監査を受けております。

(1) 【貸借対照表】

区分	注記 番号	前事業年度 (平成26年3月31日)		当事業年度 (平成27年3月31日)	
		金額(千円)		金額(千円)	
(資産の部)					
流動資産					
1		現金・預金	3,179,267		3,896,094
2		前払費用	133,019		94,024
3		未収委託者報酬	569,687		814,705
4		未収運用受託報酬	252,128		319,881
5		未収収益	73		107
6		繰延税金資産	57,628		85,853
7		その他	323		84
		流動資産合計	4,192,127		5,210,750
固定資産					
1 有形固定資産					
	* 1	(1) 建物	47,031		45,249
	* 1	(2) 器具備品	10,600		12,797
		有形固定資産合計	57,631		58,046
2 無形固定資産					
		(1) 電話加入権	4,535		4,535
		無形固定資産合計	4,535		4,535
3 投資その他の資産					
		(1) 投資有価証券	64,604		135,587
		(2) 関係会社株式	41,085		122
		(3) 長期差入保証金	193,917		161,636
		(4) 繰延税金資産	110,616		132,485
		(5) その他	29		29
		投資その他の資産合計	410,253		429,859
		固定資産合計	472,419		492,441
		資産合計	4,664,547		5,703,191

区分	注記 番号	前事業年度 (平成26年3月31日)		当事業年度 (平成27年3月31日)	
		金額(千円)		金額(千円)	
(負債の部)					
流動負債					
1	預り金		5,256		126,101
2	未払金				
	(1) 未払手数料	264,886		391,115	
	(2) その他未払金	103,918	368,804	107,030	498,145
3	未払費用		301,051		387,091
4	未払消費税等		47,871		211,457
5	未払法人税等		260,111		583,342
6	前受収益		67,612		47,207
7	賞与引当金		47,208		54,235
8	役員賞与引当金		8,400		11,400
	流動負債合計		1,106,316		1,918,981
固定負債					
1	退職給付引当金		59,903		64,308
2	資産除去債務		7,625		7,760
	固定負債合計		67,528		72,068
	負債合計		1,173,844		1,991,050
(純資産の部)					
株主資本					
1	資本金		1,550,000		1,550,000
2	資本剰余金				
	(1) 資本準備金		413,280		413,280
	資本剰余金合計		413,280		413,280
3	利益剰余金				
	(1) その他利益剰余金				
	繰越利益剰余金		1,515,658		1,750,324
	利益剰余金合計		1,515,658		1,750,324
	株主資本合計		3,478,938		3,713,604
評価・換算差額等					
1	その他有価証券評価差額金		11,764		1,462
	評価・換算差額等合計		11,764		1,462
	純資産合計		3,490,702		3,712,141
	負債・純資産合計		4,664,547		5,703,191

(2) 【損益計算書】

区分	注記 番号	前事業年度 (自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日)		当事業年度 (自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日)	
		金額(千円)		金額(千円)	
営業収益					
1 委託者報酬		4,255,278		6,931,318	
2 運用受託報酬		2,330,904	6,586,183	2,410,937	9,342,256
営業費用					
1 支払手数料		2,108,094		3,520,626	
2 広告宣伝費		6,708		23,637	
3 公告費		1,780		4,180	
4 調査費		1,432,804		1,890,482	
(1) 調査費		569,905		594,023	
(2) 委託調査費		860,367		1,292,599	
(3) 図書費		2,532		3,859	
5 営業雑経費		149,262		191,429	
(1) 通信費		18,408		21,613	
(2) 印刷費		120,430		158,297	
(3) 諸会費		10,423	3,698,650	11,518	5,630,355
一般管理費					
1 給料		1,201,183		1,260,113	
(1) 役員報酬		39,975		109,183	
(2) 給料・手当		1,063,436		1,045,995	
(3) 賞与		97,771		104,933	
2 福利厚生費		96,749		102,817	
3 交際費		8,762		10,360	
4 寄付金		200		200	
5 旅費交通費		33,717		37,768	
6 法人事業税		14,646		18,444	
7 租税公課		7,341		8,301	
8 不動産賃借料		238,291		227,534	
9 退職給付費用		33,185		34,819	
10 賞与引当金繰入		47,208		54,235	

区分	注記 番号	前事業年度 (自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日)		当事業年度 (自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日)	
		金額(千円)		金額(千円)	
11 役員賞与引当金繰入		8,400		11,400	
12 固定資産減価償却費		15,279		14,237	
13 諸経費		146,303	1,851,270	183,804	1,964,036
営業利益			1,036,262		1,747,864
営業外収益					
1 受取配当金		951		2,211	
2 受取利息		367		464	
3 有価証券売却益		-		1,139	
4 有価証券償還益		-		18,285	
5 為替差益		1,098		2,259	
6 雑益		1,893	4,310	3,746	28,107
営業外費用					
1 有価証券売却損		1		-	
2 雑損		2,709	2,711	221	221
経常利益			1,037,861		1,775,751
特別利益					
1 子会社清算益	* 1	-	-	124,873	124,873
特別損失					
1 固定資産除却損	* 2	325	325	31	31
税引前当期純利益			1,037,536		1,900,593
法人税、住民税及び事業税			273,769		702,469
法人税等調整額			50,302		43,579
当期純利益			814,068		1,241,702

（ 3 ） 【株主資本等変動計算書】

前事業年度（自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日）

（単位：千円）

	株主資本					
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		株主資本合計
		資本準備金	資本剰余金合計	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計	
当期首残高	1,550,000	413,280	413,280	701,589	701,589	2,664,870
当期変動額						
当期純利益				814,068	814,068	814,068
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）						
当期変動額合計	-	-	-	814,068	814,068	814,068
当期末残高	1,550,000	413,280	413,280	1,515,658	1,515,658	3,478,938

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	8,496	8,496	2,673,366
当期変動額			
当期純利益			814,068
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	3,267	3,267	3,267
当期変動額合計	3,267	3,267	817,335
当期末残高	11,764	11,764	3,490,702

当事業年度（自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日）

（単位：千円）

	株主資本					
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		株主資本 合計
		資本準備金	資本剰余金 合計	その他利益 剰余金 繰越利益 剰余金	利益剰余金 合計	
当期首残高	1,550,000	413,280	413,280	1,515,658	1,515,658	3,478,938
当期変動額						
剰余金の配当				1,007,036	1,007,036	1,007,036
当期純利益				1,241,702	1,241,702	1,241,702
株主資本以外の 項目の当期変動 額（純額）						
当期変動額合計	-	-	-	234,666	234,666	234,666
当期末残高	1,550,000	413,280	413,280	1,750,324	1,750,324	3,713,604

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	11,764	11,764	3,490,702
当期変動額			
剰余金の配当			1,007,036
当期純利益			1,241,702
株主資本以外の 項目の当期変動 額（純額）	13,227	13,227	13,227
当期変動額合計	13,227	13,227	221,438
当期末残高	1,462	1,462	3,712,141

重要な会計方針

1．有価証券の評価基準及び評価方法

(1) 子会社株式

移動平均法による原価法を採用しております。

(2) その他有価証券

時価のあるもの

決算日の市場価格等に基づく時価法（評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法より算定）を採用しております。

時価のないもの

移動平均法による原価法を採用しております。

2．固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産（リース資産を除く）

定率法を採用しております。

なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。

建物	15年
器具備品	3～20年

(2) リース資産

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。

3．外貨建の資産及び負債の本邦通貨への換算基準

外貨建金銭債権債務は、期末日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は損益として処理しております。

4．引当金の計上基準

(1) 賞与引当金

従業員賞与の支給に充てるため、賞与支給見込額の当事業年度負担額を計上しております。

(2) 役員賞与引当金

役員賞与の支給に充てるため、当事業年度における支給見込額を計上しております。

(3) 退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における要支給額を計上しております。

退職給付債務の計算に当たっては、「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号）に定める簡便法によっております。

5．消費税等の会計処理方法

税抜方式を採用しております。

注記事項

（貸借対照表関係）

* 1 . 有形固定資産の減価償却累計額は、次のとおりであります。

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当事業年度 (平成27年3月31日)
建物	56,120千円	64,817千円
器具備品	42,124	46,725

（損益計算書関係）

* 1 . 特別利益の子会社清算益の内容は、次のとおりであります。

	前事業年度 (自平成25年4月1日 至平成26年3月31日)	当事業年度 (自平成26年4月1日 至平成27年3月31日)
	-	米国の100%子会社であった TACT ASSET MANAGEMENT INC.の清算終了によるものであります。

* 2 . 固定資産除却損の内容は、次のとおりであります。

	前事業年度 (自平成25年4月1日 至平成26年3月31日)	当事業年度 (自平成26年4月1日 至平成27年3月31日)
器具備品	325千円	31千円

（株主資本等変動計算書関係）

前事業年度（自 平成25年 4月 1日 至 平成26年 3月31日）

1．発行済株式に関する事項

株式の種類	当事業年度 期首株式数	当事業年度 増加株式数	当事業年度 減少株式数	当事業年度末 株式数
普通株式	24,085株	- 株	- 株	24,085株

2．自己株式に関する事項

該当事項はありません。

3．新株予約権等に関する事項

該当事項はありません。

4．剰余金の配当に関する事項

(1) 配当金支払額

該当事項はありません。

(2) 基準日が当期に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌期となるもの

（決議）	株式の 種類	配当金の 総額	配当の原資	1株当たり 配当額	基準日	効力発生日
平成26年 6月25日 定時株主総会	普通株式	407,036千円	利益剰余金	16,900円	平成26年 3月31日	平成26年 6月26日

当事業年度（自 平成26年 4月 1日 至 平成27年 3月31日）

1．発行済株式に関する事項

株式の種類	当事業年度 期首株式数	当事業年度 増加株式数	当事業年度 減少株式数	当事業年度末 株式数
普通株式	24,085株	- 株	- 株	24,085株

2．自己株式に関する事項

該当事項はありません。

3．新株予約権等に関する事項

該当事項はありません。

4．剰余金の配当に関する事項

(1) 配当金支払額

（決議）	株式の種類	配当金の総額	1株当たり配当額	基準日	効力発生日
平成26年6月25日 定時株主総会	普通株式	407,036千円	16,900円	平成26年3月31日	平成26年6月26日
平成27年3月27日 臨時株主総会	普通株式	600,000千円	24,911円	平成26年3月31日	平成27年3月31日

(2) 基準日が当期に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌期となるもの
該当事項はありません。

(金融商品関係)

1．金融商品の状況に関する事項

(1) 金融商品に対する取組方針

当社では、主として短期的な預金及び一部の有価証券によって運用しており、経営として許容できる範囲内にリスクを制御するよう、適切に資産運用を行っております。デリバティブは為替変動リスクを低減する目的で実需の範囲で為替予約取引を行っております。

(2) 金融商品の内容及びそのリスク

投資有価証券は、主に投資信託を保有しており、今後の基準価額の下落によっては、売却損・評価損計上による利益減少や、評価差額金の減少により純資産が減少するなど、価格変動リスクに晒されております。

(3) 金融商品に係るリスク管理体制

当社では、短期的な預金について、格付の高い金融機関とのみ取引を行っております。

価格変動リスクについては、四半期ごとに時価の状況等を把握し、当該状況については資産運用管理規程に従い、経理担当部が取締役会等へ報告し、適切に管理を行っております。

(4) 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明

金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては変動要因を織り込んでいるため、異なる前提条件等を採用することにより、当該価額が変動することがあります。

2．金融商品の時価等に関する事項

貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。なお、時価を把握することが極めて困難と認められるものは含めておりません（注2．参照）。

前事業年度（平成26年3月31日）

（単位：千円）

	貸借対照表計上額	時価	差額
(1) 現金・預金	3,179,267	3,179,267	-
(2) 投資有価証券 其他有価証券	48,854	48,854	-
資産計	3,228,121	3,228,121	-

当事業年度（平成27年3月31日）

（単位：千円）

	貸借対照表計上額	時価	差額
(1) 現金・預金	3,896,094	3,896,094	-
(2) 投資有価証券 其他有価証券	119,837	119,837	-
資産計	4,015,931	4,015,931	-
(1) 未払法人税等	583,342	583,342	-
負債計	583,342	583,342	-

注1．金融商品の時価の算定方法並びに有価証券取引に関する事項

資 産

(1) 現金・預金

短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(2) 投資有価証券

時価については、公表されている基準価額または取引金融機関等から提示された基準価額によっております。

負 債

(1) 未払法人税等

短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

注2．時価を把握することが極めて困難と認められる金融商品

（単位：千円）

区分	前事業年度 （平成26年3月31日）	当事業年度 （平成27年3月31日）
非上場株式	15,750	15,750
関係会社株式	41,085	122

非上場株式は、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められることから、「(2) 投資有価証券 其他有価証券」には含めておりません。

また、関係会社株式は、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められることから、時価開示の対象としておりません。

注3．金銭債権及び満期のある有価証券の決算日後の償還予定額

前事業年度（平成26年3月31日）

（単位：千円）

	1年以内	1年超 5年以内	5年超 10年以内	10年超
(1) 預金	3,179,166	-	-	-
(2) 投資有価証券				
その他有価証券のうち 満期があるもの				
株式	-	-	-	-
債券	-	-	-	-
その他	29,028	19,825	-	-
合計	3,208,194	19,825	-	-

当事業年度（平成27年3月31日）

（単位：千円）

	1年以内	1年超 5年以内	5年超 10年以内	10年超
(1) 預金	3,896,001	-	-	-
(2) 投資有価証券				
その他有価証券のうち 満期があるもの				
株式	-	-	-	-
債券	-	-	-	-
その他	-	119,837	-	-
合計	3,896,001	119,837	-	-

注4．社債、新株予約権付社債及び長期借入金の決算日後の返済予定額

該当事項はありません。

（有価証券関係）

1．売買目的有価証券

該当事項はありません。

2．満期保有目的の債券

該当事項はありません。

3．子会社株式及び関連会社株式

子会社株式及び関連会社株式（当事業年度の貸借対照表計上額は子会社株式 122千円、前事業年度の貸借対照表計上額は子会社株式 41,085千円）は、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められることから、記載しておりません。

4．その他有価証券で時価のあるもの

前事業年度（平成26年3月31日）

（単位：千円）

	種類	貸借対照表計上額	取得原価	差 額
貸借対照表計上額が 取得原価を超えるもの	(1) 株式	-	-	-
	(2) 債券	-	-	-
	(3) その他	39,282	20,985	18,297
	小 計	39,282	20,985	18,297
貸借対照表計上額が 取得原価を超えないもの	(1) 株式	-	-	-
	(2) 債券	-	-	-
	(3) その他	9,572	9,590	18
	小 計	9,572	9,590	18
合計		48,854	30,575	18,278

当事業年度（平成27年3月31日）

（単位：千円）

	種類	貸借対照表計上額	取得原価	差 額
貸借対照表計上額が 取得原価を超えるもの	(1) 株式	-	-	-
	(2) 債券	-	-	-
	(3) その他	1,217	1,200	17
	小 計	1,217	1,200	17
貸借対照表計上額が 取得原価を超えないもの	(1) 株式	-	-	-
	(2) 債券	-	-	-
	(3) その他	118,619	120,100	1,480
	小 計	118,619	120,100	1,480
合計		119,837	121,300	1,462

5．売却したその他有価証券

前事業年度（自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日）

（単位：千円）

種類	売却額	売却益の合計額	売却損の合計額
(1) 株式	-	-	-
(2) 債券	-	-	-
(3) その他	98	-	1
合計	98	-	1

当事業年度（自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日）

（単位：千円）

種類	売却額	売却益の合計額	売却損の合計額
(1) 株式	-	-	-
(2) 債券	-	-	-
(3) その他	42,174	1,171	31
合計	42,174	1,171	31

（デリバティブ取引関係）

該当事項はありません。

（退職給付関係）

前事業年度（自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日）

1．採用している退職給付制度の概要（出向受入者に対する出向元への退職金負担額を除く。）

当社は、従業員の退職給付に充てるため、非積立型の確定給付制度及び確定拠出制度を採用しております。

退職一時金制度（非積立型制度であります。）では、退職給付として、給与と勤務期間に基づいた一時金を支給しております。

なお、当社が有する退職一時金制度は、簡便法により退職給付引当金及び退職給付費用を計算しております。

2．簡便法を適用した確定給付制度

(1) 簡便法を適用した制度の、退職給付引当金の期首残高と期末残高の調整表

退職給付引当金の期首残高	49,692	千円
退職給付費用	13,106	
退職給付の支払額	2,895	
退職給付引当金の期末残高	59,903	

(2) 退職給付債務の期末残高と貸借対照表に計上された退職給付引当金の調整表

非積立型制度の退職給付債務	59,903	千円
貸借対照表に計上された負債と資産の純額	59,903	
退職給付引当金	59,903	
貸借対照表に計上された負債と資産の純額	59,903	

(3) 退職給付に係る負債

簡便法で計算した退職給付費用	13,106	千円
----------------	--------	----

3．確定拠出制度

当社の確定拠出制度への要拠出額は、9,867千円でありました。

当事業年度（自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日）

1. 採用している退職給付制度の概要（出向受入者に対する出向元への退職金負担額を除く。）

当社は、従業員の退職給付に充てるため、非積立型の確定給付制度及び確定拠出制度を採用しております。

退職一時金制度（非積立型制度であります。）では、退職給付として、給与と勤務期間に基づいた一時金を支給しております。

なお、当社が有する退職一時金制度は、簡便法により退職給付引当金及び退職給付費用を計算しております。

2. 簡便法を適用した確定給付制度

(1) 簡便法を適用した制度の、退職給付引当金の期首残高と期末残高の調整表

退職給付引当金の期首残高	59,903	千円
退職給付費用	13,437	
退職給付の支払額	9,032	
退職給付引当金の期末残高	64,308	

(2) 退職給付債務の期末残高と貸借対照表に計上された退職給付引当金の調整表

非積立型制度の退職給付債務	64,308	千円
貸借対照表に計上された負債と資産の純額	64,308	
退職給付引当金	64,308	
貸借対照表に計上された負債と資産の純額	64,308	

(3) 退職給付に係る負債

簡便法で計算した退職給付費用	13,437	千円
----------------	--------	----

3. 確定拠出制度

当社の確定拠出制度への要拠出額は、10,316千円でありました。

（ストック・オプション等関係）

該当事項はありません。

（税効果会計関係）

1．繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当事業年度 (平成27年3月31日)
繰延税金資産		
ソフトウェア損金算入限度超過額	96,962千円	112,543千円
未払事業税	19,448	41,100
未払費用否認	19,566	25,132
退職給付引当金	21,349	20,839
賞与引当金	16,824	17,930
その他	4,603	4,758
繰延税金資産小計	178,755	222,305
評価性引当額	2,815	3,071
繰延税金資産合計	175,940	219,234
繰延税金負債		
固定資産除去価額	1,181	896
その他有価証券差額金	6,514	-
繰延税金負債合計	7,695	896
繰延税金資産の純額	168,244	218,338

2．法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との間に重要な差異があるときの、当該差異の原因となった主要な項目別の内訳

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当事業年度 (平成27年3月31日)
法定実効税率 (調整)	38.0%	法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との間の差異が法定実効税率の100分の5以下であるため注記を省略しております。
交際費等永久に損金に算入されない項目	0.8	
住民税均等割	0.2	
税務上の繰越欠損金の利用	16.4	
評価性引当額の増減	1.8	
税率変更による期末繰延税金資産の減額修正	0.7	
税効果会計適用後の法人税等の負担率	21.5	

3．法人税等の税率の変更による繰延税金資産及び繰延税金負債の金額の修正

「所得税法等の一部を改正する法律」（平成27年法律第9号）が平成27年3月31日に公布され、平成27年4月1日以後に開始する事業年度から法人税率等の引き下げが行われることとなりました。これに伴い、繰延税金資産及び繰延税金負債の計算に使用する法定実効税率は従来の35.6%から平成27年4月1日に開始する事業年度に解消が見込まれる一時差異については33.1%に、平成28年4月1日に開始する事業年度以降に解消が見込まれる一時差異については、32.3%になります。

その税率変更により、繰延税金資産の金額（繰延税金負債の金額を控除した金額）は19,550千円減少し、法人税等調整額が同額増加しております。

（資産除去債務関係）

資産除去債務のうち貸借対照表に計上しているもの

1．当該資産除去債務の概要

本社事務所の不動産賃貸借契約に伴う原状回復義務等であります。

2．当該資産除去債務の金額の算定方法

使用見込期間を取得から15年と見積り、割引率は1.7%～1.8%を使用して資産除去債務の金額を計算しております。

3．当該資産除去債務の総額の増減

	前事業年度 (自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日)	当事業年度 (自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日)
期首残高	7,492千円	7,625千円
時の経過による調整額	133	135
期末残高	7,625	7,760

（セグメント情報等）

セグメント情報

当社は、投資運用事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

関連情報

前事業年度（自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日）

1．製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への営業収益が損益計算書の営業収益の90%を超えるため、記載を省略しております。

2．地域ごとの情報

(1) 営業収益

本邦の外部顧客への営業収益が損益計算書の営業収益の90%を超えているため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えているため、記載を省略しております。

3．主要な顧客ごとの情報

（単位：千円）

顧客の名称又は氏名	営業収益	関連するセグメント名
株式会社損害保険ジャパン	453,804	-
日本興亜損害保険株式会社	253,819	-
NK S J ひまわり生命保険株式会社	179,208	-

当事業年度（自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日）

1．製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への営業収益が損益計算書の営業収益の90%を超えるため、記載を省略しております。

2．地域ごとの情報

(1) 営業収益

本邦の外部顧客への営業収益が損益計算書の営業収益の90%を超えているため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えているため、記載を省略しております。

3．主要な顧客ごとの情報

特定の顧客に対する営業収益で損益計算書の営業収益の10%以上を占めるものがないため、記載を省略しております。

（関連当事者情報）

1．関連当事者との取引

(1) 財務諸表提出会社の親会社及び主要株主（会社等に限る。）等
記載すべき重要な取引はありません。

(2) 財務諸表提出会社の子会社及び関連会社等
記載すべき重要な取引はありません。

(3) 財務諸表提出会社と同一の親会社を持つ会社等及び財務諸表提出会社のその他の関係会社の子会社等

前事業年度（自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日）

種類	会社等の名称	所在地	資本金 (千円)	事業の内容	議決権等の所有 (被所有) 割合	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額 (千円)	科目	期末残高 (千円)
同一の親会社を持つ会社	NKSJひまわり生命保険株式会社	東京都新宿区	17,250,000	生命保険業	-	投資顧問契約に基づく資産運用の一任（注1）	運用受託報酬の受取り	179,208	未収運用受託報酬	95,172
同一の親会社を持つ会社	損保ジャパンDC証券株式会社	東京都新宿区	3,000,000	確定拠出年金業	-	投資信託に係る事務代行の委託等（注2）	投資信託代行手数料の支払い	331,709	未払手数料	75,919

注1．上記金額のうち、取引金額には消費税等が含まれておらず、期末残高には消費税等が含まれております。

2．取引条件ないし取引条件の決定方針等

（注1）運用受託報酬の受取りについては、一般的取引条件によっております。

（注2）代行手数料の支払いについては、一般的取引条件によっております。

当事業年度（自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日）

種類	会社等の名称	所在地	資本金 (千円)	事業の内容	議決権等の所有 (被所有) 割合	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額 (千円)	科目	期末残高 (千円)
同一の親会社を持つ会社	損保ジャパン日本興亜ひまわり生命保険株式会社	東京都新宿区	17,250,000	生命保険業	-	投資顧問契約に基づく資産運用の一任（注1）	運用受託報酬の受取り	188,089	未収運用受託報酬	102,679
同一の親会社を持つ会社	損保ジャパン日本興亜DC証券株式会社	東京都新宿区	3,000,000	確定拠出年金業	-	投資信託に係る事務代行の委託等（注2）	投資信託代行手数料の支払い	371,167	未払手数料	92,290

注1．上記金額のうち、取引金額には消費税等が含まれておらず、期末残高には消費税等が含まれております。

2．取引条件ないし取引条件の決定方針等

（注1）運用受託報酬の受取りについては、一般的取引条件によっております。

（注2）代行手数料の支払いについては、一般的取引条件によっております。

3．NKSJひまわり生命保険株式会社は、平成26年9月1日に商号を損保ジャパン日本興亜ひまわり生命保険株式会社に変更しております。

4．損保ジャパンDC証券株式会社は、平成26年9月1日に商号を損保ジャパン日本興亜DC証券株式会社に変更しております。

(4) 財務諸表提出会社の役員及び主要株主（個人の場合に限る。）等
役員及び主要株主（個人の場合に限る。）等との取引はありません。

2. 親会社又は重要な関連会社に関する注記

(1) 親会社情報

損保ジャパン日本興亜ホールディングス株式会社（東京証券取引所・大阪証券取引所に上場）

なお、NKSJホールディングス株式会社は、平成26年9月1日に商号を損保ジャパン日本興亜ホールディングス株式会社に変更しております。

(2) 重要な関連会社の要約財務情報

関連会社はありません。

(1株当たり情報)

	前事業年度 (自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日)	当事業年度 (自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日)
1株当たり純資産額	144,932.64円	154,126.69円
1株当たり当期純利益金額	33,799.80円	51,555.01円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日)	当事業年度 (自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日)
当期純利益(千円)	814,068	1,241,702
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る当期純利益(千円)	814,068	1,241,702
期中平均株式数(株)	24,085	24,085

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

中間財務諸表

(1) 中間貸借対照表

		第31期中間会計期間 (平成27年9月30日)
区分	注記 番号	金額(千円)
(資産の部)		
流動資産		
1 現金・預金		3,937,172
2 前払費用		83,040
3 未収委託者報酬		907,995
4 未収運用受託報酬		383,249
5 未収収益		133
6 繰延税金資産		72,518
7 その他		1,120
流動資産合計		5,385,230
固定資産		
1 有形固定資産	1	57,722
2 無形固定資産		4,535
3 投資その他の資産		
(1) 長期差入保証金		161,598
(2) 繰延税金資産		140,082
(3) その他		123,753
投資その他の資産合計		425,433
固定資産合計		487,691
資産合計		5,872,921

		第31期中間会計期間 (平成27年9月30日)
区分	注記 番号	金額(千円)
(負債の部)		
流動負債		
1 預り金		4,271
2 未払金		
(1) 未払手数料		374,794
(2) その他未払金		117,681
未払金合計		492,476
3 未払費用		400,034
4 未払法人税等		355,712
5 前受収益		36,977
6 賞与引当金		50,347
7 役員賞与引当金		4,500
8 その他	2	67,910
流動負債合計		1,412,229
固定負債		
1 退職給付引当金		67,586
2 資産除去債務		7,830
固定負債合計		75,416
負債合計		1,487,646

		第31期中間会計期間 (平成27年9月30日)
区分	注記 番号	金額(千円)
(純資産の部)		
株主資本		
1 資本金		1,550,000
2 資本剰余金		
(1) 資本準備金		413,280
資本剰余金合計		413,280
3 利益剰余金		
(1) その他利益剰余金		
繰越利益剰余金		2,434,243
利益剰余金合計		2,434,243
株主資本合計		4,397,523
評価・換算差額等		
1 その他有価証券評価差額金		12,248
評価・換算差額等合計		12,248
純資産合計		4,385,275
負債・純資産合計		5,872,921

(2) 中間損益計算書

		第31期中間会計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	
区分	注記 番号	金額(千円)	
営業収益			
1 委託者報酬		3,846,111	
2 運用受託報酬		1,212,392	5,058,503
営業費用			
1 支払手数料		1,945,319	
2 広告宣伝費		11,471	
3 公告費		200	
4 調査費		959,198	
(1) 調査費		305,778	
(2) 委託調査費		651,541	
(3) 図書費		1,878	
5 営業雑経費		96,335	
(1) 通信費		9,014	
(2) 印刷費		76,182	
(3) 諸会費		11,139	3,012,525
一般管理費			
1 給料		627,226	
(1) 役員報酬		46,583	
(2) 給料・手当		550,163	
(3) 賞与		30,479	
2 福利厚生費		56,330	
3 交際費		3,113	
4 旅費交通費		20,283	
5 法人事業税		14,295	
6 租税公課		4,217	
7 不動産賃借料		108,061	
8 退職給付費用		24,071	
9 賞与引当金繰入		50,347	
10 役員賞与引当金繰入		4,500	
11 固定資産減価償却費	1	6,340	
12 諸経費		100,444	1,019,232
営業利益			1,026,744

		第31期中間会計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	
区分	注記 番号	金額(千円)	
営業外収益			
1 受取配当金		90	
2 受取利息		288	
3 有価証券売却益		19	
4 為替差益		444	
5 雑益		5,301	6,143
営業外費用			
1 雑損		0	0
経常利益			1,032,888
特別損失		663	663
税引前中間純利益			1,032,224
法人税、住民税及び事業税			342,567
法人税等調整額			5,738
中間純利益			683,919

(3) 中間株主資本等変動計算書

第31期中間会計期間（自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日）

（単位：千円）

	株主資本					株主資本 合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		
		資本準備金	資本剰余金 合計	その他利益 剰余金 繰越利益 剰余金	利益剰余金 合計	
当期首残高	1,550,000	413,280	413,280	1,750,324	1,750,324	3,713,604
当中間期変動額						
中間純利益				683,919	683,919	683,919
株主資本以外の項目の当 中間期変動額（純額）						
当中間期変動額合計	-	-	-	683,919	683,919	683,919
当中間期末残高	1,550,000	413,280	413,280	2,434,243	2,434,243	4,397,523

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	評価・換算差 額等合計	
当期首残高	1,462	1,462	3,712,141
当中間期変動額			
中間純利益			683,919
株主資本以外の項目の当 中間期変動額（純額）	10,785	10,785	10,785
当中間期変動額合計	10,785	10,785	673,134
当中間期末残高	12,248	12,248	4,385,275

重要な会計方針

1．資産の評価基準及び評価方法

(1) 子会社株式

移動平均法による原価法によっております。

(2) その他有価証券

時価のあるもの

中間会計期間末日の市場価格等に基づく時価法（評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定）によっております。

時価のないもの

移動平均法による原価法によっております。

2．固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産（リース資産を除く）

定率法を採用しております。

なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。

建物	15年
器具備品	3～20年

(2) リース資産

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。

3．外貨建の資産及び負債の本邦通貨への換算基準

外貨建金銭債権債務は、中間会計期間末日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は損益として処理しております。

4．引当金の計上基準

(1) 賞与引当金

従業員賞与の支給に充てるため、賞与支給見込額の当中間会計期間負担額を計上しております。

(2) 役員賞与引当金

役員賞与の支給に充てるため、当事業年度における支給見込額の当中間会計期間負担額を計上しております。

(3) 退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当中間会計期間末における要支給額を計上しております。

退職給付債務の計算に当たっては、「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号）に定める簡便法によっております。

5．消費税等の会計処理方法

税抜方式を採用しております。

注記事項

(中間貸借対照表関係)

第31期中間会計期間
(平成27年9月30日)

1 有形固定資産の減価償却累計額	110,305千円
2 消費税等の取扱い	仮払消費税等及び仮受消費税等は相殺のうえ、 流動負債の「その他」に含めて表示しておりま す。

(中間損益計算書関係)

第31期中間会計期間
(自 平成27年4月1日
至 平成27年9月30日)

1 減価償却実施額 有形固定資産	6,340千円
---------------------	---------

(中間株主資本等変動計算書関係)

第31期中間会計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

1. 発行済株式の種類及び総数並びに自己株式の種類及び株式数に関する事項

	当事業年度期首 株式数(株)	当中間会計期間 増加株式数(株)	当中間会計期間 減少株式数(株)	当中間会計期間末 株式数(株)
発行済株式				
普通株式	24,085	-	-	24,085
合計	24,085	-	-	24,085
自己株式				
普通株式	-	-	-	-
合計	-	-	-	-

2. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

該当事項はありません。

(2) 基準日が当中間会計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当中間会計期間の末日後
となるもの

該当事項はありません。

（金融商品関係）

第31期中間会計期間（平成27年9月30日）

金融商品の時価等に関する事項

平成27年9月30日における中間貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。なお、時価を把握することが極めて困難と認められるものは含めておりません（注2．参照）。

（単位：千円）

	中間貸借対照表計上額	時 価	差 額
(1) 現金・預金	3,937,172	3,937,172	-
(2) 投資有価証券			
其他有価証券	107,851	107,851	-
資産計	4,045,024	4,045,024	-

注1．金融商品の時価の算定方法

資 産

(1) 現金・預金

短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(2) 投資有価証券

時価については、公表されている基準価額または取引金融機関等から提示された基準価額によっております。

注2．時価を把握することが極めて困難と認められる金融商品

（単位：千円）

区分	中間貸借対照表計上額
非上場株式	15,750
関係会社株式	122

非上場株式は、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められることから、「(2) 投資有価証券 其他有価証券」には含めておりません。

また、関係会社株式は、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められることから、時価開示の対象としておりません。

（有価証券関係）

第31期中間会計期間（平成27年9月30日）

1．満期保有目的の債券

該当事項はありません。

2．子会社株式及び関連会社株式

子会社株式及び関連会社株式（中間貸借対照表計上額 子会社株式122千円）は、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められることから、記載していません。

3．その他有価証券

（単位：千円）

	種 類	中間貸借対照表 計上額	取得原価	差 額
中間貸借対照表計上額が 取得原価を超えるもの	(1) 株式	-	-	-
	(2) 債券	-	-	-
	(3) その他	-	-	-
	小 計	-	-	-
中間貸借対照表計上額が 取得原価を超えないもの	(1) 株式	-	-	-
	(2) 債券	-	-	-
	(3) その他	107,851	120,100	12,248
	小 計	107,851	120,100	12,248
合計		107,851	120,100	12,248

（デリバティブ取引関係）

該当事項はありません。

（ストック・オプション等関係）

該当事項はありません。

（資産除去債務関係）

第31期中間会計期間（平成27年9月30日）

資産除去債務のうち中間貸借対照表に計上しているもの

当中間会計期間における当該資産除去債務の総額の増減

期首残高	7,760千円
時の経過による調整額	69
中間期末残高	7,830

（セグメント情報等）

セグメント情報

第31期中間会計期間（自平成27年4月1日至平成27年9月30日）

当社は、投資運用事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

関連情報

第31期中間会計期間（自平成27年4月1日至平成27年9月30日）

1．製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への営業収益が中間損益計算書の営業収益の90%を超えるため、記載を省略しております。

2．地域ごとの情報

(1) 営業収益

本邦の外部顧客への営業収益が中間損益計算書の営業収益の90%を超えているため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が中間貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えているため、記載を省略しております。

3．主要な顧客ごとの情報

特定の顧客に対する営業収益で損益計算書の営業収益の10%以上を占めるものがないため、記載を省略しております。

（ 1株当たり情報）

	第31期中間会計期間 （自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日）
1株当たり純資産額	182,074.96円
1株当たり中間純利益金額	28,396.06円
	なお、潜在株式調整後1株当たり中間純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

（注）1株当たり中間純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	第31期中間会計期間 （自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日）
中間純利益（千円）	683,919
普通株主に帰属しない金額（千円）	-
普通株式に係る中間純利益（千円）	683,919
普通株式の期中平均株式数（株）	24,085

（重要な後発事象）

該当事項はありません。

第2【その他の関係法人の概況】

1【名称、資本金の額及び事業の内容】

以下の記載内容に更新・訂正いたします。

<更新・訂正後>

(1) 受託会社

名称

みずほ信託銀行株式会社（再信託受託会社：資産管理サービス信託銀行株式会社）

資本金の額

247,369百万円（平成27年9月末現在）

事業の内容

銀行法に基づき銀行業を営むとともに、金融機関の信託業務の兼営に関する法律（兼営法）に基づき信託業務を営んでいます。

<再信託受託会社の概要>

名称：資産管理サービス信託銀行株式会社

資本金の額：50,000百万円（平成27年9月末現在）

事業の内容：銀行法に基づき銀行業を営むとともに、金融機関の信託業務の兼営に関する法律（兼営法）に基づき信託業務を営んでいます。

再信託の目的：原信託契約に係る信託事務の一部（信託財産の管理）を原信託受託会社から再信託受託会社（資産管理サービス信託銀行株式会社）へ委託するため、原信託財産のすべてを再信託受託会社へ移管することを目的とします。

(2) 販売会社

（単位：百万円、平成27年9月末現在）

名称	資本金の額	事業の内容
池田泉州T T証券株式会社	1,250	「金融商品取引法」に定める第一種金融商品取引業を営んでいます。
いちよし証券株式会社	14,577	
宇都宮証券株式会社	301	
株式会社SBI証券	47,937	
カブドットコム証券株式会社	7,196	
立花証券株式会社	6,695	
東海東京証券株式会社	6,000	
内藤証券株式会社	3,002	
西村証券株式会社	500	
むさし証券株式会社	5,000	
楽天証券株式会社	7,495	
リテラ・クレア証券株式会社	3,794	
ワイエム証券株式会社	1,270	

独立監査人の監査報告書

平成28年2月3日

損保ジャパン日本興亜アセットマネジメント株式会社

取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員 公認会計士 小澤 裕 治 印
業務執行社員指定有限責任社員 公認会計士 羽柴 則 央 印
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられている人民元建て債券ファンドの平成27年6月6日から平成27年12月7日までの特定期間の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益及び剰余金計算書、注記表並びに附属明細表について監査を行った。

財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に財務諸表に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、財務諸表の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

監査意見

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、人民元建て債券ファンドの平成27年12月7日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する特定期間の損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

利害関係

損保ジャパン日本興亜アセットマネジメント株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- (注) 1. 上記は、監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。
2. XBR Lデータは監査の対象には含まれていません。

[次へ](#)

独立監査人の監査報告書

平成27年6月4日

損保ジャパン日本興亜アセットマネジメント株式会社

取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員 公認会計士 大村 真 敏 印
業務執行社員指定有限責任社員 公認会計士 羽柴 則 央 印
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「委託会社等の経理状況」に掲げられている損保ジャパン日本興亜アセットマネジメント株式会社の平成26年4月1日から平成27年3月31日までの第30期事業年度の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書、重要な会計方針及びその他の注記について監査を行った。

財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に財務諸表に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、財務諸表の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

監査意見

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、損保ジャパン日本興亜アセットマネジメント株式会社の平成27年3月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する事業年度の経営成績をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。

2. XBR Lデータは監査の対象には含まれていません。

[次へ](#)

独立監査人の中間監査報告書

平成27年11月24日

損保ジャパン日本興亜アセットマネジメント株式会社

取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 小澤 裕治 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 羽柴 則央 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「委託会社等の経理状況」に掲げられている損保ジャパン日本興亜アセットマネジメント株式会社の平成27年4月1日から平成28年3月31日までの第31期事業年度の中間会計期間（平成27年4月1日から平成27年9月30日まで）に係る中間財務諸表、すなわち、中間貸借対照表、中間損益計算書、中間株主資本等変動計算書、重要な会計方針及びその他の注記について中間監査を行った。

中間財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して中間財務諸表を作成し有用な情報を表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない中間財務諸表を作成し有用な情報を表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した中間監査に基づいて、独立の立場から中間財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に準拠して中間監査を行った。中間監査の基準は、当監査法人に中間財務諸表には全体として中間財務諸表の有用な情報の表示に関して投資者の判断を損なうような重要な虚偽表示がないかどうかの合理的な保証を得るために、中間監査に係る監査計画を策定し、これに基づき中間監査を実施することを求めている。

中間監査においては、中間財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するために年度監査と比べて監査手続の一部を省略した中間監査手続が実施される。中間監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による中間財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて、分析的手続等を中心とした監査手続に必要に応じて追加の監査手続が選択及び適用される。中間監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な中間監査手続を立案するために、中間財務諸表の作成と有用な情報の表示に関連する内部統制を検討する。また、中間監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め中間財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

中間監査意見

当監査法人は、上記の中間財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して、損保ジャパン日本興亜アセットマネジメント株式会社の平成27年9月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する中間会計期間（平成27年4月1日から平成27年9月30日まで）の経営成績に関する有用な情報を表示しているものと認める。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

（注）1．上記は、中間監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。

2．XBRLデータは監査の対象には含まれていません。